



富島中  
学校だより



～地域とともにある富島中～

4月号

発行元：  
日向市立富島中学校  
(文責 校長)  
令和5年4月20日

4月に赴任した校長の横山博章と申します。歴史と伝統のある富島中学校に勤めることができることを大変誇りに思います。富島中学生、保護者、地域のために精一杯取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新年度が始まり、2週間が過ぎようとしています。12名の転入職員を迎えた新任式に始まり、1年間の学校生活への展望を見据えた始業式、そして、新しい仲間である新入生137名を迎えた入学式。今日までの間、学校生活オリエンテーションや避難訓練、交通安全教室など、学校生活を送るうえでの基本的な動きの確認や、今までの学習の振り返りとなる、県数テストや県英テスト、全国学力・学習状況調査など、たくさんの取組がありました。毎日が目まぐるしく過ぎていと感じますが、1年間の動きの基礎をつくる時期ですので大切にに取り組んでいきたいと思えます。

さて、始業式の中で、2、3年生には「何事も一生懸命しよう」「あいさつを大切にしよう」という話をしました。入学式の式辞の中では、新入生に二つのお願いをしました。富島中生としてこうあって欲しいとの校長の願いです。新入生ばかりでなく全校生徒へのメッセージでもありましたので、以下に紹介させていただきます。

#### 【入学式 校長式辞より】

晴れて入学された137名の新入生の皆さん、富島中学校への御入学、おめでとうございます。私たちは、皆さんの入学を心待ちにしていました。皆さんの後ろには、二・三年生の先輩たちも皆さんの入学を祝い、参加しています。これから先輩と力を合わせて、伝統を守り、宮崎県の誇れる富島中学校を築いていってください。

さて、新入生の皆さんはそれぞれが中学校生活への抱負を心に抱き入学されたことと思います。皆さんはこの三年間で、自分の将来への道筋を立て、実現するための力をつけなければなりません。そこで、皆さんに心がけて欲しいことを二つお願いします。

一つ目は、「当たり前前を当たり前にする」ということです。なかなか難しいことではありますが、「あいさつをしっかりしたり」「清掃を一生懸命したり」など、取り組む姿かたちをしっかりとすることが大切です。何事も「かたち」をしっかりとすること、いかに基本を身に付けることです。将来の自分をつくり上げるためには欠くことができません。勉強であれ、スポーツであれ、基本がしっかりできている人が向上できます。心を磨くことにもつながります。また、一生懸命することで、自分がどのようなことに向いているのか気づくことができ、将来の自分の姿を描くことができるのです。

二つ目は、「仲間を大切にしてください」。楽しく生活を送るためには、自分から「おはようございます」のあいさつを言いましょ。う。「ありがとうございます」と心から感謝の言葉を伝えましょ。う。「大丈夫」と仲間を気遣い、励まし合いましょ。う。「一緒に頑張りましょ。う」と勇気づけることもいいです。仲間を大切にすることとは、相手を思いやった美しい言葉を使うということ。お互いに認め合い、助け合うためのコミュニケーションは、自分の発する言葉です。たくさん、たくさん美しい言葉を使い、温かい雰囲気の中にある富島中でありたいと思えます。

18日の朝、1年生の学年集会がありました。教室から無言で体育館に移動し、先生方の話を姿勢よくしっかりと聞いている姿は素晴らしかったです。何より感動したことが、整列した一人一人の生徒が上履きを右横に縦に揃えて並べるのですが、後ろから見るとどの学級も、それがまっすぐと並びとてもすがすがしい気持ちにさせられました。「当たり前前を当たり前にする」まさにこの瞬間でした。「夢のある」「力のある」「心のある」富島中学校であるために職員一同、力を合わせて教育を進めてまいります。御協力をよろしくお願いいたします。